

日本痛風・尿酸核酸学会

第 53 回社員総会議事録

開催日時：令和 2 年 2 月 13 日（木） 13:15～13:35
会 場：北九州国際会議場

13 時 15 分に上田理事長が議長席に着き、開催を宣言した。
開催に先立って第 53 回総会 土橋卓也会長より挨拶があった。

審議に先立ち議長より本日の出席者は下記の通り正会員の過半数であり、
定款第 19 条の規定により総会が成立することが報告された。

正会員数 594 名 出席者 72 名 委任状 239 名

続いて下記審議が行われた。

議案 1 議長指示により山内庶務幹事より「令和元年度決算報告」の説明
と監査報告があった。議長が賛否をはかったところ出席者全員の
拍手で承認された。

議案 2 引き続き山内庶務幹事より「令和 2 年度予算案」の説明があり、
議長が賛否をはかったところ出席者全員の拍手で承認された。

議案 3 令和 4 年度第 55 回総会会長の選出
第 55 回総会会長に国立病院機構あわら病院の津谷寛院長が推薦
され出席者全員の 拍手で承認された。

議案 4 令和元年度学会賞受賞者決定報告
上田理事長より令和元年度の学会賞は東京大学医学部附属病
院薬剤部講師・第 1 副部長である高田龍平先生に決定したとの
報告があった。

議案 5 令和元年度優秀論文賞受賞者決定報告
市田編集委員長より令和元年度の最優秀論文賞は三穂クリニック

の栗山哲先生、優秀論文賞は兵庫医科大学の藏城雅文先生、福井大学の大岩加奈先生に決定したとの報告があった。

議案6 編集委員会報告

市田編集委員長より

- (1) 令和元年の J-Stage アクセス数件数
- (2) 学会ロゴマークの制定
- (3) 学会推奨ジャーナル名の略称、英語版学会誌名称、学会推奨略称
- (4) 和文投稿規定の見直し、英文投稿規定の検討
- (5) コメディカルの入会促進策
- (6) 課題や論文の査読者人数の検討などについて報告があった。

議案7 認定痛風医資格制度委員会報告

資格制度委員長の寺井理事より

- (1) 第9回認定痛風医申請は新規申請が4名、更新申請が6名で其々承認され認定痛風医は55名になった。
- (2) 第8回教育研修会は平成31年2月15日に開催し12名が参加。
- (3) 第7回認定痛風医試験は令和元年6月29日に実施し合格者は1名。
- (4) 認定痛風医英語表記の改定
- (5) 学会ホームページの改定
- (6) 認定痛風医証デザインの変更
- (7) 第9回教育研修会日程などについて発表があった。

- (8) 認定痛風医資格制度委員会委員の改選については、寺井委員長、箱田委員、浜田委員、堤委員の4名が任期満了で退任となり新しく谷口理事(委員長)、土橋評議員、藏城評議員、桑原評議員の4名が委員に承認された事の報告があった。

議案8

(i) ガイドライン広報委員会報告

内田委員長より

広報啓発活動用の共通スライドの作成、Mindsの要請による活用状況に関するアンケートの実施状況、他学会へ講演依頼、6-7-8ルール策定の根拠についての回答モデルの作成、ガイドライン中国語版の検討、地域医師会との連携講演会方法などの活動報告があった。

(ii) ガイドライン改定委員会報告

久留委員長よりガイドライン発刊後の評価指標に関して下記報告があった。

1) 普及の方法

- ・ガイドライン第3版の発行部数は10,500冊、ダイジェスト版は5,500冊となっている。
- ・英語版については二重投稿回避の為に、英語翻訳を学会誌に投稿することとした。
- ・WEBサイトではMinds上にて第2章のクリニカルクエスチョンを2月初旬に掲載し、その後全文を掲載する予定。
- ・今後は一般市民向け講演や患者向けのQ & Aも作成する予定。

2) モニタリングと監査

- ・Webサイトのアクセス数・患者アウトカム測定・アンケート調査結果などのガイドラインの有効性評価が注目されている。

3) ガイドライン第3版追補版について

1月に新薬(ドチヌラド)の製造承認がおり今後発売される見込みであるので、それを含んだ追補版の作成の検討をしたい。
本件については久留委員長にお願いする事が出席者全員の拍手で承認された。

議案9 あり方委員会報告

上田理事長より学会の財務状況そして今後は財務強化の面から学術集会を学会主導に変更して行く方針の説明があった。

議案10 学会人事 及び 理事会開催回数の見直し

上田理事長より下記人事案などの報告があった。

(1) 理事の改選

任期満了による退任 3名	上田理事長、藤森副理事長、登理事
本人申し出による辞任 2名	山中副理事長、大野理事
新規選任 2名	津谷寛評議員、土橋卓也評議員

(2) 評議員の改選

任期満了による退任 1名	竹内評議員
新規選任 6名	阿部弘太郎先生、大内基司先生、大谷直由先生 此下忠志先生、玉井郁巳先生、山岡法子先生

(3) 監事 本人の同意もあり重任。

(4) 執行部の改選

新理事長として金子希代子理事、副理事長には市田公美理事と久留一郎理事、庶務幹事には細山田真理事、編集幹事は山内理事が重任

(5) 理事会開催回数の変更

現在の年1回開催から状況に応じて追加開催を可能とする。
本議案につき賛否を諮ったところ、出席者全員の拍手を以って承認された。

議案 11 名誉会員

上田理事長より2月退任及び辞任の理事5名の追加の報告があった。

議案 12 旧学会の解散、議案 13 基金返還の放棄、議案 14 定款の変更

上田理事長より一括して説明があった。
税理士の助言もあり、学会法人化手続の中で旧学会に残していた資産を現在の新学会へ一本化する手続であり、学会の事務手続の透明化につながるものとしてあり方委員会で討議したもので、定款第6条を下記のような変更も実施するもの。
「第6条 当法人は基金を引き受ける者の募集をすることができる」
議長が賛否を諮った処出席者全員の拍手を以って承認された。

議案 15 学術集会開催時の接遇基準規定

上田理事長より別表の同一基準に改定する旨の報告があった。

議案 16 庶務幹事報告

山内庶務幹事より学会の現状について、個人会員及びホームページのアクセス数は共に増加傾向にある旨の報告があった。

令和元年度の学会賞及び優秀論文賞受賞者の表彰が行われた。

最後に学会を定年で退任となる上田理事長より退任の挨拶があった。

すべての審議が終了し、議長が13時35分に閉会を宣言した。

上記議事録の内容が正確であることを証する為、定款第 21 条の規程により議長及び出席理事 2 名が議事録署名人としてこれに記名捺印する。

令和 2 年 2 月 13 日

議長（理事長）	上田 孝典
議事録署名人（理事）	金子 希代子
同	山内 高弘